

平成二十九年 入学試験 (平成 28 年 11 月 5 日)

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

「学ぶこと」は理想化されたり貶められたりする。「学ぶこと」は、一方で人間に無限の可能性を開き、そうして高められた人間が世界をより良いものへと変革してゆく、といった語られ方をする。他方で「学ぶこと」は、^(A) 己成の知識を身につけることを強要され、その達成度によって人間が序列づけられる忌むしいものとして語られもする。

「働くこと」も同様である。「働くこと」は、一方では自己実現や社会貢^(B) 献、「誰かの笑顔」につながる輝かしいものであるかのように語られる。他方で、「働くこと」はひたすら理不尽で虚しい苦行であり、できるなら避けたいものとしても語られる。

「学ぶこと」と「働くこと」のどちらについても、特に近年、こうした語り方の 一 が著しくなっているように感じる。多くの権力や財力をもつ立場の者ほど「学ぶこと」「働くこと」を美しく語り、逆に学びや仕事の中でこれまで苦しい思いをした者ほど、その暗黒の面を強調する。また、「学ぶこと」がはらむ問題を補うために「働くこと」の価値が持ち出されたり、逆に「働くこと」の荒廃を改善する手段として「学ぶこと」による解決が持ち出されたりする。その ^(C) テン型が「キャリア教育」と呼ばれるものであるが、そこには「学ぶこと」と「働くこと」の双方からの期待が交錯して ^(A) 強い負荷がかかっている。

今、私たちは、「学ぶこと」と「働くこと」をめぐるこうした様々な語りが撒き散らす、まぶしさどす黒さの間で、それらをどう考え、どう扱えばよいのか、わからなくなっているように思われる。

そのような事態を生み出しているのは、両者の間の、かつてはそれなりに ^(D) セイ合的であった関係のあり方に、いまやはつきりと ^(B) 齟齬が広がっているという現実である。前世紀後半にこの社会で形成されていたのは、「学ぶ」ための社会制度としての教育システムと、「働くこと」に従事するための雇用システムとが、それぞれ別個の論理に閉じていても、前者から後者への間断なき人の流れ自体はかなり円滑であり、それゆえに「学ぶこと」の意味、「働くこと」の意味を人々が深く吟味しなくてもすんできたという特異な状態であった。揺らぎそうにない教育および仕事の枠組みを前提として、できるだけ有利な位置・成績や学歴、大企業入社や昇進・昇給を獲得することに邁進していれば、人生の間はどんどん過ぎていった。しかし、前世紀末に近づいた頃から、「学ぶこと」と「働くこと」の ^(C) 表層的な蜜月には亀裂が入り始めた。先に変化したのは「働くこと」の方であり、それにより従来のような円滑な移行から外れる若者が増え、円滑な移行に入り込もうとする競争が激化し、その茶番めいた競争に疲れきったり愛想をつかしたりする者も多くなってきた。

互いの間の従来の関係を自明としていた二つのシステムも、この亀裂が露わになるにつれ、それぞれにいつそうの変調を来し始めている。「働くこと」のハードルが高くなることによって「学ぶこと」への動機づけは総じて弱体化して一部でのみ過熱し、「学ぶこと」の実質的な意義の不全のゆえに「働くこと」がうまくいかない、という、^(D) 悪循環が深まっている。それを一挙に解決しようとして推進されているのが先述の「キャリア教育」であるが、それは「学ぶこと」「働くこと」双方への過剰な期待が空転しているために、実際には解決策にはなりえていない。

では、これから「学ぶこと」「働くこと」をどのようにしてゆくべきか。まず言えることは、従来の

ような、間断なき人の流れという点でのみ両者が接続するような状態を復元することは環境条件の変化により不可能なのであり、それに代えて「学ぶ内容」と「働く内容」との弾力ある接続を生み出し広げてゆく必要があるということである。

ただし、それは「キャリア教育」で想定されているような、職業観・勤労観と基礎的・汎用的能力を身につければどのような仕事にでも適応してゆける、といった過剰に希望的な接続ではなく、「働くこと」のリアリティー―それは必然的に一定の範囲の仕事分野に根差してその明暗両面を見据えたものとならざるをえない―をじっくりと「学ぶこと」、そして「学んだこと」を実際に活かし展開してゆけるような「働き方」をつくってゆくこと、という、教育システムと雇用システムの深部に及ぶ変化を「**おカ**」**ン**起するような接続でなければ無意味である。

より具体的に言えば、「学ぶこと」の側については、義務教育よりも上の教育段階において、柔軟性を含みこんだ職業実践的教育と、労働者として身を守るための教育が拡充される必要がある。「働くこと」の側については、組織に個人を溶け込ませるような働き方ではなく、一定の仕事分野をしっかりと遂行できることを尊重するような働き方を、今よりもずっと厚くしてゆく必要がある。

「学ぶこと」と「働くこと」の間のほどけた隙間に、新しい結び目を作ってゆくこと。私たちはもはや、この課題から目をそらしていることはできない。

(本田由紀「『学ぶこと』と『働くこと』の結び目をどうするか」岩波書店編集部『これからどうする―未来のつくり方』岩波書店 より)

問一、傍線部(あ)～(お)のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、次の各群の1～4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

- | | | | | | |
|-----|-----|-------|--------|--------|---------------------|
| (あ) | キ成 | 1、キ往症 | 2、キ械 | 3、キ録 | 4、キ則 |
| (い) | 貢ケン | 1、ケン築 | 2、ケン血 | 3、ケン利 | 4、ケン究 |
| (う) | テン型 | 1、テン換 | 2、テン検 | 3、テン加物 | 4、古 _レ テン |
| (え) | セイ合 | 1、セイ頓 | 2、セイ人式 | 3、セイ府 | 4、セイ解 |
| (お) | カン起 | 1、カン境 | 2、カン督 | 3、カン問 | 4、カン用句 |

問二、空欄 に入ることばとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号6】

- 1、物質化 2、両極化 3、一般化 4、自由化

問三、傍線部(A)「強い負荷がかかっている」とあるが、その説明としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号7】

- 1、「キャリア教育」を推進することによって「学ぶこと」と「働くこと」の問題点を早急に解決したいという期待が高くなり、「学ぶこと」と「働くこと」の双方が暗く語られているということ。
- 2、「キャリア教育」を推進するためには、「学ぶこと」の側か、「働くこと」の側かのどちらかを優先せざるを得ず、両者の間の緊張が高まっているということ。
- 3、「キャリア教育」によって「学ぶこと」と「働くこと」の問題を解決することは困難だという認識から、「キャリア教育」批判が強くなっているということ。
- 4、「キャリア教育」によって「学ぶこと」と「働くこと」の問題が解決できるはずという期待が強くなりすぎて、「キャリア教育」がうまく働かなくなっているということ。

問四、傍線部(B)「齟齬」の意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号8】

- 1、善悪の観念に縛られて争うこと
- 2、自分の立場に強くこだわること
- 3、意見や事柄が食い違って合わないこと
- 4、緊張感に欠ける関係になること

問五、傍線部(C)「表層的な蜜月」とはどういう状態のことか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号9】

- 1、教育の場から労働の場への人の流れが円滑で、「学ぶこと」と「働くこと」の意味、「働くこと」の意味を深く考える必要のなかった状態。

- 2、「学ぶこと」と「働くこと」の関係に変化が生じて、学校の試験で好成績を得た人が有利な条件の職場に就職できなくなってしまった状態。
- 3、「学ぶこと」と「働くこと」の本来の意味を現在の実情と照らし合わせた結果、明るい未来への展望が広がっている状態。
- 4、「学ぶ」ための教育システムと、「働く」ための雇用システムとが、密接に連携しあって機能を果たし、失業者が少なかった状態。

問六、傍線部(D)「悪循環」とあるが、その具体的な説明としてもっとも適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号10】

- 1、「働くこと」のハードルが高くなることに連動して「学ぶこと」のハードルも高くなっていた結果、「学ぶこと」への意欲を継続できない人が増えてしまうということ。
- 2、「働くこと」と「学ぶこと」の接続がかい離した結果、「学ぶこと」が目標とすることと「働くこと」が目標とすることが対立し、「働くこと」が困難になっているということ。
- 3、「学ぶこと」の意義が見出せなくなった結果、安易に「働くこと」を求める人が増加して就職が一層困難になってしまい、「働くこと」の現場でも支障が生じること。
- 4、「働くこと」を優先するあまり、直接的に就職に役立つ「学び」ばかりに重点が置かれた結果、職場において必要な能力や資質が不足し、かえって「働くこと」が不調になっているということ。

問七、本文の内容に合致するものとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号11】

- 1、「働くこと」は、本来、「誰かの笑顔」につながるような輝かしいものであり、虚しい苦行だと考えるべきではない。
- 2、働く人を組織の一部にするのではなく、一定の仕事分野をしつかりと遂行できることを尊重するよう働き方へと移行することが望ましい。
- 3、景気が回復し、教育の場から労働の場への人の流れが円滑になって、「学ぶこと」の意味、「働くこと」の意味を人々が深く吟味しなくてもすむようになることが望ましい。
- 4、職業への意欲を高め、社会人としての基礎的な能力を身につけさせようとする現在の「キャリア教育」には限界があり、今では「キャリア教育」はその存在意義を失っている。

二、次のA～Fを読みなさい。段落の順序をととのえて要旨がはっきりした文章にするには、1～4の順序が良いか。もつとも適当なものを選びなさい。

【解答番号12】

A 私はかつて、中学入試向け予備校の講師として、小学4年生の最上位クラスを受け持ったことがある。彼らは極めて優秀だった。例えば内閣改造が行われると、新聞を読んできて、「先生、この大臣の言っている政策がよくわかりません。説明してください」と言ってくる。それが一人や二人ではない。さらに、全ての大臣の政策に関する談話を読んできた子すらいた。あるいは、80分間の2コマ連続授業が終わったとき、「先生、30分でいいんで延長してもらえませんか」と求めてきたこともあった。

B 学力の低い生徒にとって、わからない授業を45～50分間聞かされ続けることは苦痛でしかない。それが一日に何コマもあれば、逃避行動に出ることも、自己の無能さを痛感して自尊心を損なうことも、教員に反抗することも、当然である。

C 逆に授業開始から2～3分で、授業内容や教員の求めることが全てわかってしまう生徒にとっては、睡眠の時間か似顔絵を描くなどの一人遊びの時間、あるいは受験勉強などの「内職」の時間にしなければならない。つまり、人間が最も成長する貴重な時期に、膨大な時間を無為に、あるいは利己的に過ごすことになってしまうのである。

D 彼らの知的好奇心は飢えていた。学校での学びは退屈で仕方がないと言う。その通りだろう。学校の授業速度ではわからないことなど何一つなく、当然のことながら一般的な10歳児と話が合うわけがない。もっと、社会や人間、科学について知りたいと欲しているにもかかわらず、それは与えられない。

E 80年代以降ずっと主張されているように、公立学校の義務教育段階では、落ちこぼれを出さない教育が求められる。それが悪いとは思わないが、その目的と一斉講義型授業はそぐわない。優秀な生徒にとつても、教員の想定以上に学力の低い生徒にとつても、不幸だからだ。

F つまり、現行の教育システムは、多くの不幸を抱え込んだ上で成立しているのである。しかし、そういう状況に対して多くの教員は効果的な策が打てていない。ただ漫然と、教科書や指導書を音読しているに留まっている。

(林純次『残念な教員』光文社より)

- 1、A・D・F・C・B・E
- 2、B・C・D・F・A・E
- 3、E・B・C・A・D・F
- 4、D・F・A・B・E・C

三、13～17について、正しい読みを1～4から選びなさい。

【解答番号 13～17】

- | | | | | | |
|----|----|---------|---------|--------|--------|
| 13 | 醜聞 | 1、しゅうぶん | 2、しゅうもん | 3、きもん | 4、きぶん |
| 14 | 督促 | 1、ていそく | 2、さいそく | 3、とくそく | 4、もくそく |
| 15 | 閑散 | 1、こうさん | 2、かんさん | 3、もんさん | 4、もくさん |
| 16 | 琴線 | 1、こんせん | 2、おうせん | 3、ぎんせん | 4、きんせん |
| 17 | 嫡子 | 1、しよくし | 2、てきし | 3、ちやくし | 4、ちよくし |

四、18～20の熟語の■に該当する漢字を1～4から選びなさい。

【解答番号 18～20】

- | | | | | | |
|----|------|-----|-----|-----|-----|
| 18 | ■顔無恥 | 1、素 | 2、荒 | 3、厚 | 4、平 |
| 19 | ■切丁寧 | 1、適 | 2、親 | 3、懇 | 4、哀 |
| 20 | 大安■日 | 1、一 | 2、平 | 3、吉 | 4、祭 |

五、21～24の各傍線部の意味を、それぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号 21～24】

21 格安旅行と聞いて、食指が動いた。

- 1、不安が出てきた
- 2、興味が無くなった
- 3、興味が沸いた
- 4、他人にも勧めたくなつた

22 歯が浮くようなセリフを言う。

- 1、うれしくなる
- 2、不快になる
- 3、早口で聞き取れない
- 4、難しくて解釈できない

23 経営の立て直しに腐心した。

- 1、心を砕いてがんばった
- 2、がんばったが失敗した
- 3、嫌気がさしてあきらめた
- 4、失敗して体を壊した

24 心理学については門外漢だ。

- 1、その道の権威者
- 2、その事について専門ではない
- 3、あまり興味がない
- 4、素人だが専門家もおどろくほど詳しい